

静岡県専門医研修ネットワークプログラムの特徴

複数の病院の指導医が連携して（ネットワークを組んで）、専門医研修ネットワークプログラム（基本領域、Subspecialty 領域）を作成し、提供しています。

■ 研修医の皆さんのいろいろな研修ニーズに応えます。

- 「数多くの臨床経験を積みたい」
- 「様々な特徴ある医療をいろいろな病院で経験したい」
- 「多くの医療関係者と人間関係をつくりたい」
- 「出身大学にとらわれず、病院に勤務したい」
- 「出身の静岡県に戻って研修（勤務）したい」 など

チャレンジする研修医の皆さんのニーズに合わせて、応援することができる専門医資格取得のための研修プログラムとなっています。



■ 専門医資格取得の研修をコーディネートします。

- ・ 専門医資格取得の研修要件に対応するため、指導医や専門医が多い、大きい病院や専門病院への研修勤務などもコーディネートします。
- ・ “ふじのくに地域医療支援センター”の医師及びプログラムリーダーの医師等と相談の上研修先の病院を決めていきます。
- ・ 研修スケジュール キャリア形成の例

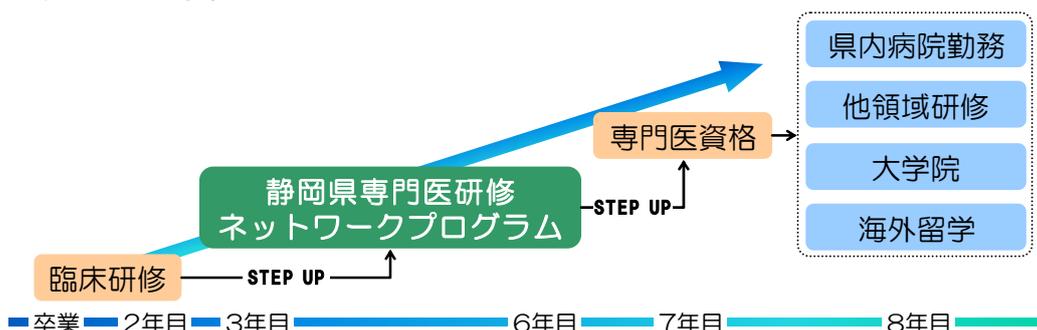
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	研修開始 → A病院への勤務（基礎技術の研修、学会参加など）											
2年目	B病院への勤務（基礎技術、症例数の増、学会参加など）											
3年目	C病院への勤務（症例数の増、学会発表など）											
4年目	選択病院への勤務（症例、試験資格取得、試験など）										→ 研修修了	

※複数の病院をローテーションし、専門医資格取得を目指します。

※勤務条件は、ローテーションする病院の処遇によります。

■ 専門医資格取得後の勤務・キャリア形成をコーディネートします。

- ・ プログラムリーダーや指導医により、プログラムを構成する病院への勤務のほか、更なるキャリア形成のための勤務等をコーディネートします。
- ・ プログラム参加病院以外の県内病院への勤務を“ふじのくに地域医療支援センター”の県下全域のネットワークによりコーディネートします。



専門医研修ネットワークプログラムの紹介

- プログラムには、最初にプログラムリーダーからのプログラム参加を呼びかけるメッセージを掲載しており、ここを読めば、プログラムリーダーの医師育成に対する思いが伝わります。

外科専門医(+消化器外科専門医) 研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 静岡県立総合病院 副院長 教育研修部長 高木 正和

全国的に外科医の減少が危惧されています。今日の外科医、とりわけ消化器外科医は診断、手術、術後治療(管理)、癌再発に対する化学療法や緩和的治療など非常に守備範囲が広く、そのため多くの他職種の医療者とのチーム医療の中でリーダーの役割が要求されています。

われわれは多くの症例を経験することで自らの手術手技と医療者としての人格を磨きますが、その中で時間のかかる手術手技の習得に焦りを感じたり、無力感に襲われることもあることでしょう。

しかし、若い外科医からベテランの外科医まで、外科医には経験によって培われた様々な段階の技術や人格に応じて必ず救える患者が目の前に存在します。研修の途中でも必ず感謝してくれる患者がいます。外科医も決して捨てたものではありません。

われわれは外科医に与えられたこうした醍醐味を一人でも多くの外科医志望者に味わっていただけるよう、そして専門医の資格を取得できるよう、すべての施設の外科医が全力で協力します。

また新しい外科専門医制度についても情報を収集し対応すべく準備を始めました。



- 研修の特徴を分かりやすく記載しています。研修プログラムは、各学会の研修カリキュラムに準じて作成しています。

3 特徴

「外科専門医」を目指す後期研修医が、短期間で効率よく必修項目を研修できるように作成されたプログラムです。

ローテートするのは静岡県中部の公的病院で、いずれも手術件数の豊富な急性期病院です。一施設では経験する手術や疾患に偏りが生じることもあるため、このプログラムでは互いの施設が連携し、それぞれの特徴を活かして、外科診療を万遍なく学べるよう配慮されています。さらに本プログラムの「外科専門医プログラム」を終了した者が「消化器外科専門医研修プログラム」の対象となります。

各施設には「日本外科学会」、「日本消化器外科学会」の指導医または専門医がおり、責任をもって指導にあたりますが、出身大学が多彩でもあり、それぞれに“カラー”があると思われます。同じ疾患でも施設や指導医によって治療方針、手術方法に違いがあることを知ることも広い見識を養ううえで重要であり、多施設研修の大きな利点です。

静岡市近辺は都会と地方が程良く混ざり合った土地柄で、エンジョイしながら勉強するには恰好の環境と言えます。ぜひこのプログラムに参加してください。

4 研修カリキュラム

「日本外科学会」の『外科専門医修練カリキュラム (平成23年1月25日改訂)』、及び「日本消化器外科学会」の『消化器外科専門医修練カリキュラム (平成20年12月改訂)』に準じます。

- 専門医資格取得まで、複数の病院をローテーションしながら必要な経験（症例、学会発表など）を重ねていきます。ひとつの病院では経験できない豊富な臨床研修と医師としての人間関係（ネットワーク）づくりなどが魅力となっています。

5 研修内容

原則として、静岡圏域にある4病院のうち2病院と、志太榛原圏域にある2病院のうちの1病院、合計3病院で各1年ずつ計3年間の研修を行います。

- ・ 静岡圏域の「静岡市立静岡病院」と「静岡県立総合病院」では消化器外科以外に独立した呼吸器外科、心臓血管外科での研修が可能で、これら2病院から1病院を選びます。
- ・ 「静岡赤十字病院」では消化器外科と呼吸器外科および血管外科の研修が、「静岡市立清水病院」では消化器外科と血管外科の研修が可能で、これら2病院から1病院を選びます。
- ・ 志太榛原圏域にある「焼津市立病院」と「市立島田市民病院」では消化器外科と一般外科の研修が可能で、このどちらか1病院を選択します。
- ・ 「静岡市立静岡病院」あるいは「静岡県立総合病院」での研修の一部として「静岡県立こども病院」での1～2ヶ月の小児外科研修が可能です。

静岡圏域の2病院での研修終了後、3年目に志太榛原圏域の病院で研修を行います。

<研修例> （1年目と2年目が入れ替わる場合もあります。）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	静岡県立総合病院						あるいは 静岡市立静岡病院					
	消化器外科および、心臓血管外科あるいは呼吸器外科 （一部こども病院で小児外科）											
2年目	静岡赤十字病院						あるいは 静岡市立清水病院					
	消化器外科および、血管外科 あるいは 呼吸器外科											
3年目	市立島田市民病院						あるいは 焼津市立病院					
	消化器外科				および		一般外科					

- 個別の症例数や指導体制、目指す専門医資格の種類や修了後のキャリア形成支援を記載してあります。Subspecialty領域、その他領域の専門医資格取得へのステップアップも支援します。

9 研修終了後の進路

プログラム終了後の進路

3年間の後期研修プログラムで「外科学会専門医」を取得します。

後期研修終了後の4年目からは「消化器外科専門医」の取得をめざして（2年間）

当病院群での継続した修練、もしくは以下の就職先での修練が可能です。

- 1) 病院群への就職（欠員があれば常勤医師として就職可能）。
- 2) 関連する大学医局への入局を推薦することが可能。
- 3) 病院・医師のネットワークにて就職の斡旋が可能。
- 4) 個別の相談に応じます。

病 院																	プログラムリーダー																					
中 部										西 部							氏名	病院名																				
静岡てんかん・神経医療センター	静岡県立こども病院	静岡県立総合病院	静岡市立静岡病院	静岡市立清水病院	静岡赤十字病院	静岡済生会総合病院	静岡厚生病院	JJA静岡厚生連医療センター	清水駿府病院	静岡県立こころの医療センター	依いVクリニック	市立島田市民病院	焼津市立総合病院	藤枝市立総合病院	中東遠総合医療センター	市立御前崎総合病院			磐田市立総合病院	服部病院	菊川市立総合病院	菊川市家庭医療センター	市立湖西病院	公立森町病院	森町家庭医療クリニック	浜松労災病院	浜松医科大学医学部附属病院	遠州病院	天竜病院	浜松赤十字病院	聖隷浜松病院	聖隷三方原病院	浜松南病院	十全記念病院	浜松市リハビリテーション病院			
		○											○	○		○										○	○									和田 英俊 小倉 廣之	浜松医科大学医学部 一般外科(内視鏡外科)科長 浜松医科大学医学部 乳腺外科科長	
																																				梅本 琢也	静岡医療センター 院長	
		○	○	○	○								○	○																						高木 正和	静岡県立総合病院 副院長兼教育研修部長	
				○									○			○										○	○	○								松山 幸弘	浜松医科大学医学部 整形外科教授	
																																				土田 博和	フジ虎ノ門整形外科病院 理事長	
		○	○	○	○								○	○																						片山 武史	市立島田市民病院 整形外科主任部長	
	○	○	○		○							○	○	○												○	○	○								金山 尚裕	浜松医科大学医学部 産婦人科教授	
				○																																辻井 篤	沼津市立病院 第一産婦人科部長	
							○					○														○										堀田 喜裕	浜松医科大学医学部 眼科教授	
		○			○	○						○	○													○	○									峯田 周幸	浜松医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授	
	○	○	○	○	○	○						○	○	○									○		○	○	○									大園 誠一郎	浜松医科大学医学部 泌尿器科学講座教授	
					○								○													○	○									難波 宏樹	浜松医科大学医学部 脳神経外科教授	
	○																																			玉井 直 小澤 章子	静岡県立静岡がんセンター病院 院長 静岡医療センター統括診療部長	
	○	○	○	○	○							○	○													○	○									加藤 孝澄	浜松医科大学医学部 麻酔蘇生学講座准教授	
													○													○	○									吉野 篤人	浜松医科大学医学部 救急災害医学講座教授	
			○									○	○													○	○									深水 秀一	浜松医科大学医学部附属病院 形成外科病院教授	
																																				田沼 明	静岡県立静岡がんセンターリ ハビリテーション科部長	
				○																						○	○	○								○	美津島 隆	浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション科病院教授
																													○	○						○	藤島 一郎	浜松市リハビリテーション病院 病院長
		○	○									○	○	○											○	○										今野 弘之	浜松医科大学医学部 外科学第二講座教授	
		○	○		○							○	○																							千原 幸司	静岡県立静岡病院副院長兼 診療部長・呼吸器外科長	
		○			○							○														○	○									椎谷 紀彦 船井 和仁	浜松医科大学医学部 心血管外科診療科長教授 浜松医科大学医学部 呼吸器外科診療科長准教授	
		○	○		○							○																								坂口 元一	静岡県立総合病院 心血管外科部長	
			○									○																								市橋 鋭一	中東遠総合医療センター副 院長兼脳神経外科統括部長	
1	7	21	17	11	17	9	1	1	1	1	16	15	24	17	2	21	1	6	1	3	1	1	8	29	24	14	3	9	22	19	1	1	2					